



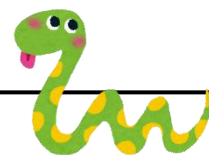
竹山小だより



令和7年1月

学校 HP もご覧ください

3学期、令和7年のスタート！



地域・保護者の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

冬季休業中も児童の見守りをお世話になり、ありがとうございました。1月7日（火）に始業式を行い、3学期がスタートしました。

始業式では、学校長から地域の偉人である芦田恵之助先生について話をしました。竹田の出身でもある恵之助先生の3つの教え

- ・ 時を守る
- ・ 場をきれいにする
- ・ 礼を正す

を竹山小学校では大切にしていることや、なぜこの3つの教えを大切にしているのかについて話しました。この夏に敷地内に芦田恵之助顕彰会が建立された記念碑にも刻まれている「共に育ちましょう」という言葉につながっています。「共に」には一緒に学ぶ友だちだけでなく先生も共に育つんだという思いが込められています。

100年以上前から大事にされているこれらのことを、子どもたちも教職員も心に留め置きながら新しい1年をスタートさせました。



寒さに負けず、元気 いっぱい竹山っ子



雪が降ると子どもたちは大喜び。外で元気に雪遊びを楽しみました。



体育委員会企画の「たてわり班対抗リレー」。みんなでバトンを繋ぎました



和の音色を感じて ～和楽器鑑賞会～

1月10日(金)5年生が和楽器鑑賞会を行いました。ふだんあまり実物を見たり、音色を聞いたりしたことのない三味線(しゃみせん)、箏(こと)の音色を聞かせてもらいました。また、尺八や箏の体験もさせてもらいました。5年生たちはなかなか鳴らすことのできない尺八に悪戦苦闘していましたが、とても貴重な体験に満足したようです。



阪神・淡路大震災 30年 ひょうご安全の日のつどい

1995年1月17日のあの日から30年がたちました。その後も東日本大震災や熊本地震、能登半島地震、丹波でも2014年の丹波市豪雨災害など、様々な災害が起こっています。阪神・淡路大震災の教訓を伝え、活かし、次なる災害に備えるため、県民局主催の「ひょうご安全の日丹波地域のつどい」を行いました。子どもたちは、30年前どのようなことがあったのか、もし大きな地震が起きたらどうすればよいのか、自分の命を守るために必要なことをたくさん学びました。



全校生で「しあわせ運べるように」を歌いました。



消防団によるポンプ車放水の見学



防災クイズ



地震体験車
震度7の揺れを体験しました。



自衛隊車両見学



阪神・淡路大震災、丹波市
豪雨災害パネル展示

30年前の阪神・淡路大震災の教訓を語り継ぐことが次なる災害に備える第一歩だといわれています。ぜひ、ご家庭でもこの日の学びについて話し合ってください、もしもの災害の時に備えていただきたいと思います。